

地震等大規模災害時における災害し尿等の収集運搬の協力に関する協定書

鳥取県（以下「甲」という。）と鳥取県環境整備事業協同組合（以下「乙」という。）は、地震等大規模災害時におけるし尿及び浄化槽汚泥の収集運搬の協力に関し、次のとおり協定を締結する。

（趣旨）

第1条 この協定は、鳥取県内において地震等大規模災害が発生した場合におけるし尿及び浄化槽汚泥（以下「災害し尿等」という。）の収集運搬に関し、甲が乙に協力を要請するに当たって必要な事項を定めるものとする。

（協力要請）

第2条 甲は、災害し尿等の収集運搬について、被災地域の市町村からの協力要請に基づいて、乙に支援協力を要請するものとする。

（災害し尿等の収集運搬の実施）

第3条 乙は、甲から要請があったときは、必要な人員、車両、資材等を調達し、市町村が実施する災害し尿等の収集運搬に可能な限り協力するものとする。

（情報の提供）

第4条 甲は、災害し尿等の収集運搬に円滑な協力が得られるように、乙に県内の被災、復旧状況等の必要な情報を提供するものとする。

2 乙は、災害し尿等の収集運搬に関し、協力可能な会員の状況を甲へ報告するものとする。

（協力要請の手続）

第5条 甲は、協力要請に当たっては、次の各号に掲げる事項を文書で乙に通知する。ただし、文書により難しい場合は、口頭で要請し、後日、速やかに文書で通知するものとする。

- (1) 市町村名
- (2) 協力内容
- (3) その他必要な事項

（実施報告）

第6条 乙は、災害し尿等の収集運搬を実施したときは、次の各号に掲げる事項を文書で甲に報告するものとする。

- (1) 市町村名
- (2) 実施内容
- (3) その他必要な事項

（費用の負担）

第7条 乙が第2条に規定する要請に基づき実施する災害し尿等の収集運搬については、原則、

無償で実施するものとするが、当該事業に要する費用が相当額になるときは、その費用の負担について、乙と当該市町村で協議の上決定するものとする。

(損失補償)

第8条 第2条に規定する要請に基づき実施した災害し尿等の収集運搬に従事した者が、負傷し、又は疾病にかかった場合等の損失補償については、乙と当該市町村で協議するものとする。

(連絡窓口)

第9条 この協定に関する連絡窓口は、甲においては鳥取県生活環境部循環型社会推進課、乙においては鳥取県環境整備事業協同組合事務局とする。

(組合員の状況等の報告)

第10条 乙は、この協定に基づく災害し尿等の収集運搬が円滑に行われるよう、必要機材の確保可能台数等の状況を甲に報告するものとする。ただし、甲が必要と認めた場合は、乙に随時報告を求めることができる。

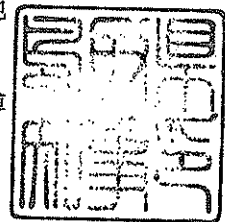
(協議)

第11条 この協定に定めるもののほか必要な事項については、その都度甲と乙で協議して定める。

この協定を証するため本書2通を作成し、甲乙各1通を保有するものとする。

平成18年10月27日

甲 鳥取市東町一丁目220番地
鳥取県
鳥取県知事 片山善博



乙 倉吉市金森町38番地2
鳥取県環境整備事業協同組合
理事長 岡崎 榮

